



# 「羽村大橋」について

令和6年1月

東京都 西多摩建設事務所

## 次第

1. 羽村大橋整備事業について
2. 令和5年度実施工事について
3. 今後の進め方について
4. 質疑応答

# 1. 羽村大橋整備事業について

## 羽村大橋の経緯

- 昭和45年（1970年） 工事着手
- 昭和49年（1974年） 現在の橋が完成  
（多摩川の下流側半分）
- 平成11～13年（1999年～2001年） 耐震補強

現在の羽村大橋は計画されている断面の半分ほどしか整備されていません。

3

課題① 車道や歩道が狭い状況となっています。

<車道の状況>



<歩道の状況>



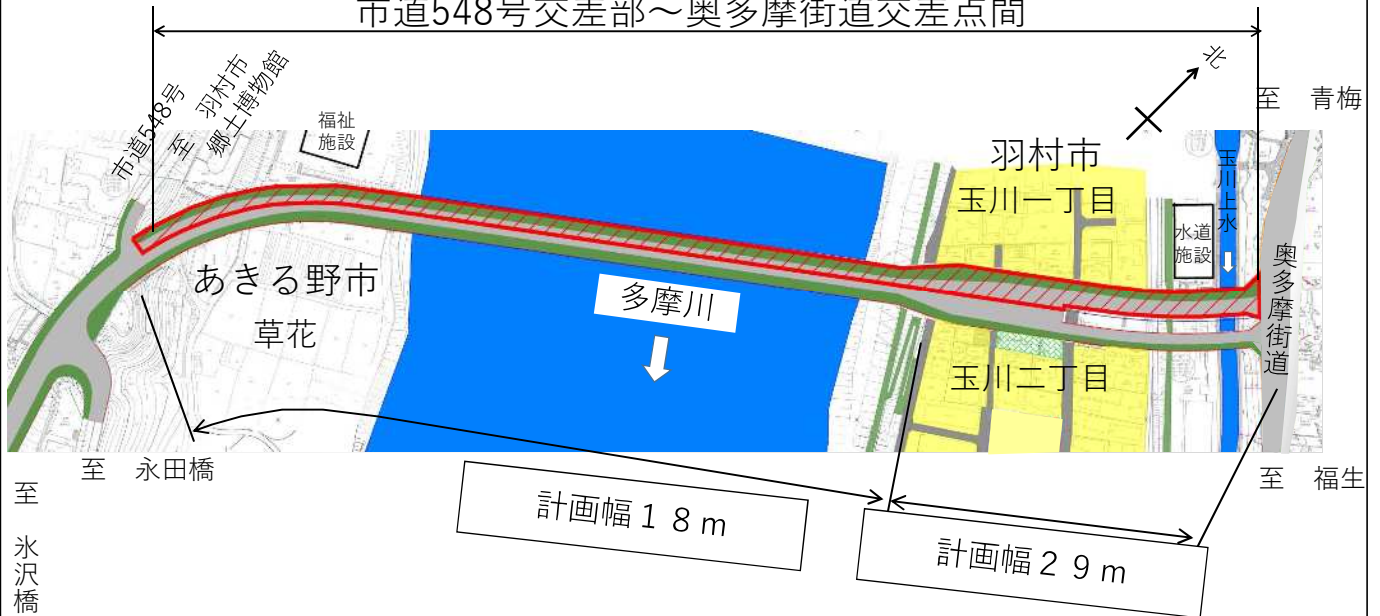
課題② 羽村大橋東詰交差点を中心に朝夕は混雑が生じています。



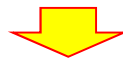
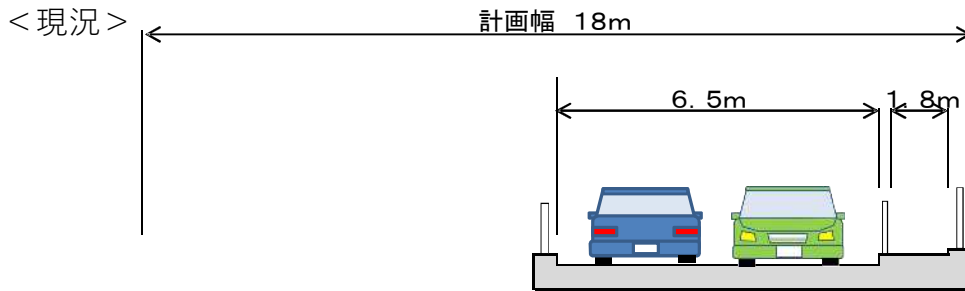
羽村大橋の東詰交差点部に右左折レーンが無いことによる渋滞の発生 4

未整備の上流側半分を整備し、  
現在の橋と併せ「羽村大橋」として完成させます。

多摩川の上流側に新しい橋を整備する区間 550 m  
市道548号交差部～奥多摩街道交差点間



計画幅 18 m (あきる野側～多摩川を渡る部分)

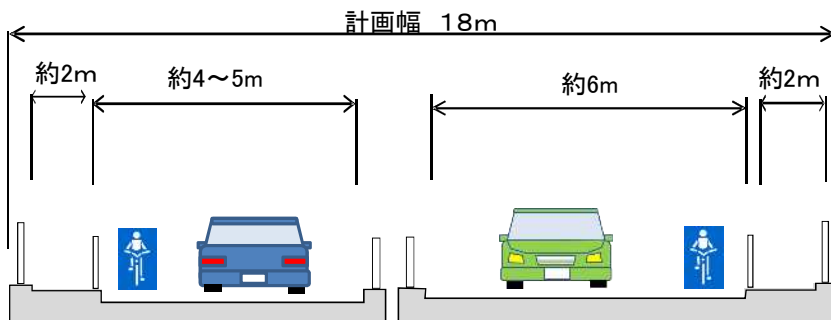


< 整備後 >

上流側

- ・上流側にも歩道を設けます。
- ・自転車は路肩を走行することを想定しています。

下流側

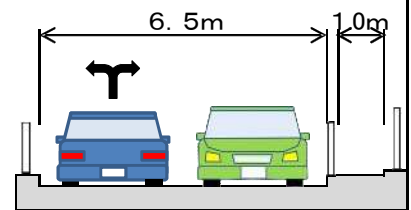


計画の断面（歩道幅、車道幅）は検討中で、確定したものではありません。

## 計画幅 29 m (奥多摩街道交差点手前部分)

< 現況 >

計画幅 29m



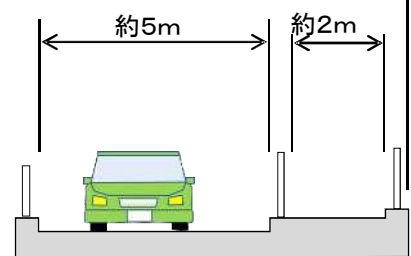
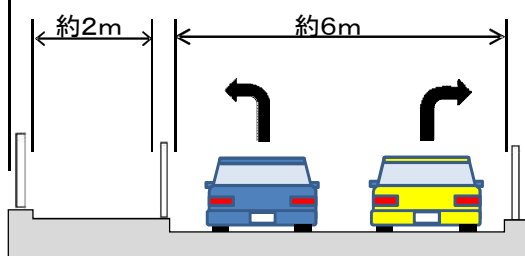
上流側

< 整備後 >

- ・上流側にも歩道を設けます。
- ・右左折車線を設ける予定です。

下流側

計画幅 29m



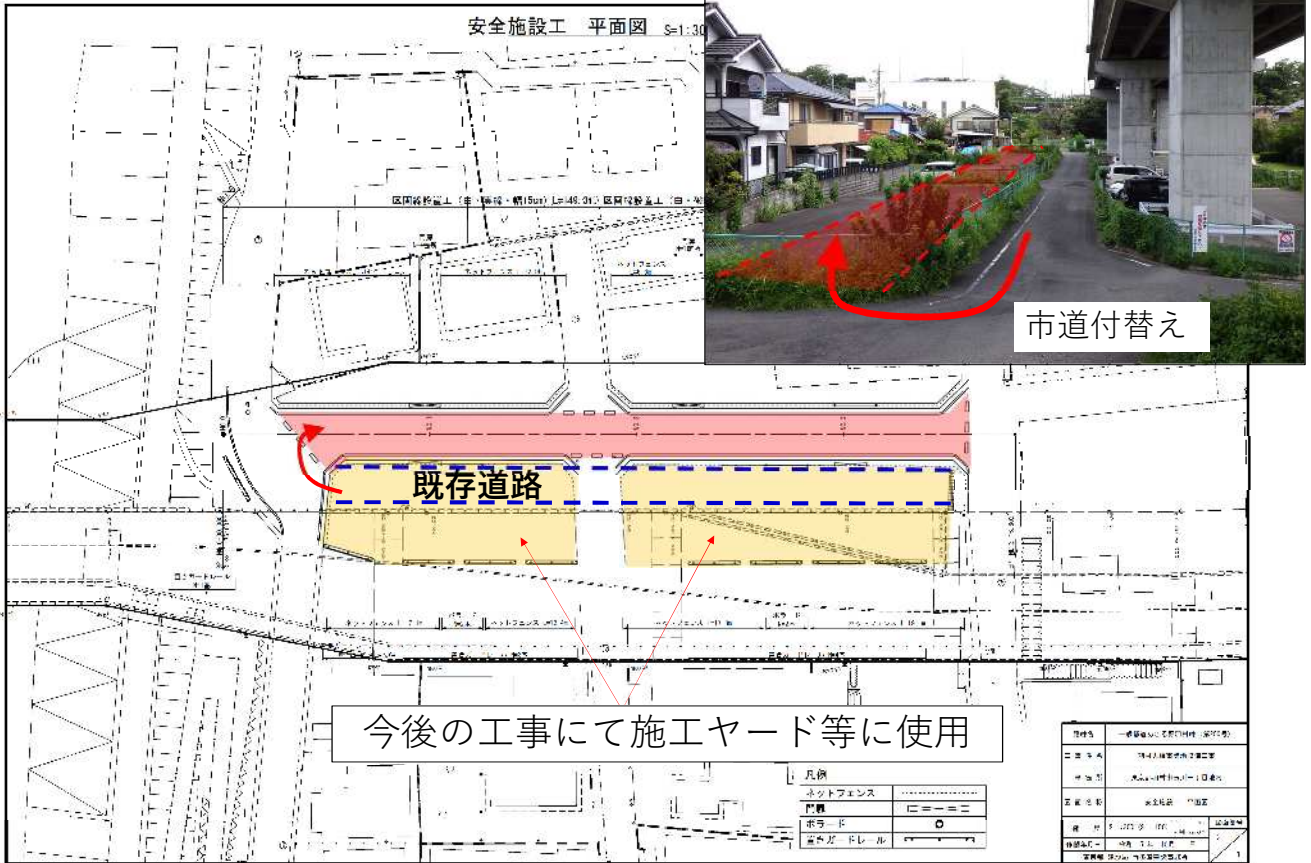
計画の断面（右折車線、車道幅、歩道幅）は検討中で、確定したものではありません。<sup>7</sup>

## 2. 令和5年度実施工事について

< 工事の目的及び流れ >

- ・ 既設の羽村大橋は整備から50年近くが経ち、経年劣化が生じています。一方、隣接した位置で新設橋工事が始まると作業スペースが重なることから、先行して既設橋の補修工事を実施する必要性があります。
- ・ まずは補修工事の実施に向け、今回工事にて既設橋の桁下にある道路を北側へ移設し、当面の間の施工空間を確保します。
- ・ 既設橋の補修工事を行った後に、順次、上流側の新設橋の本体工事に着手する予定です。

## < 工事イメージ >



## < 工事概要 >

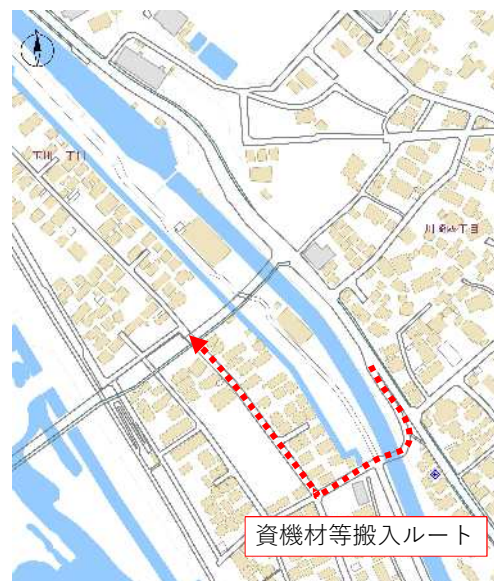
- 工事件名 : 羽村大橋事業地整備工事
- 工事場所 : 東京都羽村市玉川一丁目地内
- 工事期間 : 令和6年2月中旬から令和6年4月下旬まで  
(現場作業)
- 作業時間 : 9時 ~ 17時 (昼間)
- 工事概要 : 工事延長 L=71.9m  
・アスファルト舗装工  
・管理柵工  
・区画線工
- 受注者 : 旭建設株式会社

<作業の流れ、資機材搬入ルート（予定）>

〔作業の流れ〕

| 工種   | 令和6年 |    |    |    |    |
|------|------|----|----|----|----|
|      | 1月   | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 |
| 準備工  | ■    | ■  |    |    |    |
| 舗装工等 |      |    | ■  | ■  |    |
| 片付け  |      |    |    | ■  | ■  |

〔資機材等搬入ルート〕



本工事の施工に当たり、安全対策を実施し、周辺の皆様、歩行者、一般車両に対する安全を確保しながら工事を実施します。

### 3. 今後の進め方について

- 新設橋の整備に向け、調査・設計を進めるとともに、関係機関と引き続き調整を行って参ります。

調査・設計：地質調査、橋梁設計など  
 関係機関協議：河川管理者、地元市など

